

No.78

すくらむ

2012.11.発行



福井県特別支援教育センターは、県立病院関連四機関の4階にあります。

P1

特別支援教育センターの取組から

P2

特別支援教育センターの新シリーズ研修
／ 研修のコラボレーション

P3

共生社会の形成に向けたインクルー
シブ教育システム構築のための特別支援
教育の推進（報告）

P4

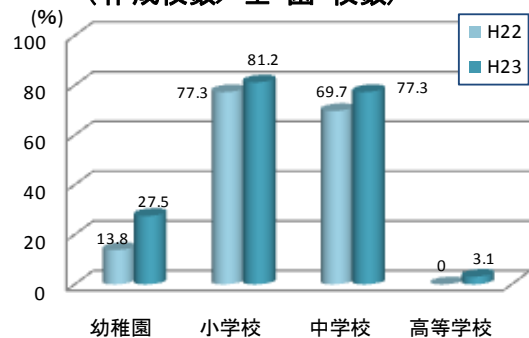
奥越地区特別支援学校（仮称）の設置に
ついて

実践発表会のご案内

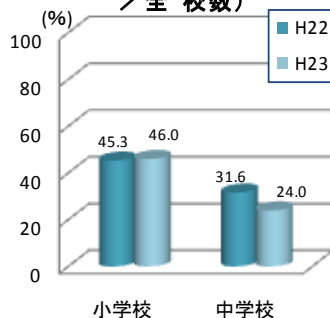
個別の指導計画 作成について...

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の新学習指導要領総則の中では、障害のある幼児児童生徒について、必要に応じて個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成することが示されました。すでに、特別支援学級では、作成が進んでいます。市町によっては、通常の学級用の様式や作成の仕方の手引きが示されています。しかし、下のグラフのように、通常の学級では、なかなか作成が進んでいない状況にあります。中学校では、前年度の作成率を下回りました。

個別の指導計画 作成率
(作成校数／全 園・校数)



個別の指導計画 作成率
(通常学級での作成校数
／全 校数)



今年度、当センターの特別支援教育ベーシック研修第2研修では、個別の指導計画作成の演習を行いました。今できていることから目標を立て、具体的な支援方法を出し合い、指導計画としてまとめました。様々な視点から多くの意見が出され、短時間で指導計画が作成されました。

特別な教育的ニーズのある子どもについて、保護者との相談会や、校内での支援会議の結果を記録し、個別の指導計画として活用するなどして、子ども理解・保護者や教職員の共通理解、引き継ぎ等のために有効な、個別の指導計画の作成を進めましょう。

作成の手順等を説明したリーフレットは、当センターHPからダウンロードできます。また、所員が園や学校へうかがい、支援会議や個別の指導計画作成のお手伝いをします。



新 シリーズ研修…授業研究リーダー研修、ステップアップ研修 スタート！

今年度から、特別支援教育専門研修の組み立てをリニューアルしました。

園や学校において特別支援教育を担う先生方の専門性をさらに高めることを目的に、

『授業研究リーダー研修』と『ステップアップ研修』の2つの研修を行っています。

授業研究リーダー研修は…

内容：

自らの授業づくりの実践と、特別支援教育の授業づくりを推進する研究リーダーとしての実践

对象：

小学校特別支援学級担任、中学校特別支援学級担任、小学校通級による指導担当者、特別支援学校担任の4名の先生方が受講されています。

今年度の受講者の研修テーマ：

- ・「交流及び共同学習」とグループ研究の活性化
- ・教師間で目標を共有し、児童が主体的に動けるような授業改善に取り組む など

ステップアップ研修は…

内容：園や学校ぐるみで特別支援教育を推進

対象：小学校、高等学校、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの4名の先生方が受講されています。

今年度の受講者の研修テーマ：

- ・高等学校における特別支援教育コーディネーターの役割について
- ・通常学級における特別支援教育の在り方

など



組織ぐるみで研修を進めていきます

研修のすすめ方は？

- 所属校や研究会等の実態や
- 研修者のニーズをふまえ
- て、**研修者自身が研修テ**
- **マ（課題）を設定**します



設定した研修テーマ
(課題)を解決するた
めの研修内容を、**研修
担当者(センター所員
等)**と共に柔軟に組み
立て、所属校での実践
を展開します

研究協議をととして、**研修の振り返りや修正**を行います



研修報告をとおして、研修のまとめを行います

年間6回の当センターでの研修のほか、研修テーマに応じて、福井大学の先生方や教育庁高校教育課特別支援教育室主任らが研修者の所属校を訪問し、授業研究会や支援会議等に参加してくださっています。

研修のコラボレーション

特別支援学級



特別支援学校

特別支援教育新任担当者研修（特別支援学級・通級による指導）と、特別支援教育ベーシック研修（特別支援学校）、センター的機能推進研究協議会とのコラボレーション！

特別支援教育新任担当者研修（特学・通級）は、初めて特別支援学級や通級による指導の担当をする先生方のための研修です。毎年、50名前後の先生方が受講されています。例年、特別支援学級や通級の経験を積まれた先生方を助言者に迎え、学級経営や教材・教具づくり、個別の指導計画作成などについて研修を組み立ててきました。

今年度は、これに加えて、地域のセンター的機能を担う特別支援学校の先生方にも協力していただきました。教材や授業の実際を具体的に紹介していただいたり、授業づくりの実践報告の研究協議に参加、助言をいただきました。一人一人の子どものニーズをとらえ、教育活動を展開していく特別支援学校の取組を伝える場としてだけでなく、今後の相談等、地域の小中学校と特支校との関係づくりの場ともなりました。

特別支援教育新任担当者研修
(特別支援学級・通級による指導)

小中学校の
新任の特担・通担

特別支援学校センター的機能
推進研究協議会
特別支援教育専門研修
ベーシック

特別支援学校の
特別支援教育コーディネーター



2000 年 12 月 20 日

自立活動の大切さや、担任の先生らとの
共通理解の大切さに気づきました。

子どもの実態に即したニーズを把握し、
めあてや手だてを考え指導をしていくこ
とが大切だと改めて分かりました。

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための 特別支援教育の推進(報告)

平成24年7月23日
初等中等教育分科会



文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会では「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」が置かれ、2010年7月から、特別支援教育の在り方について検討されてきました。

2010年12月24日には、『特別支援教育の在り方に関する特別委員会 論点整理』が出されました。

2012年7月23日、『共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)』がまとめられました。

報告書では、以下の項目について、詳細に記述されています。



1. 共生社会の形成に向けて

- (1) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
- (2) インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進
- (3) 共生社会の形成に向けた今後の進め方

就学先決定の仕組みが大きくかわります。従来の就学指導委員会の名称の変更や、機能の拡充が進められます。

2. 就学相談・就学先決定の在り方について

- (1) 早期からの教育相談・支援
- (2) 就学先決定の仕組み
- (3) 一貫した支援の仕組み
- (4) 就学先相談、就学先決定に係る国・都道府県教育委員会の役割

合理的配慮については、別表や参考資料の中で具体的に説明されています。

3. 障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備

- (1) 「合理的配慮」について
- (2) 「基礎的環境整備」について
- (3) 学校における「合理的配慮」の観点
- (4) 「合理的配慮」の充実

交流及び共同学習については、特支校と幼・小・中高校で行われる交流を双方の学校における教育課程に盛り込むことなどが示されています。

4. 多様な学びの場の整備と学校間連携等の推進

- (1) 多様な学びの場の整備と教職員の確保
- (2) 学校間連携の推進
- (3) 交流及び共同学習の推進
- (4) 関係機関との連携

5. 特別支援教育を充実させるための教職員の専門性向上等

- (1) 教職員の専門性の確保
- (2) 各教職員の専門性、養成・研修制度等の在り方
- (3) 教職員への障害のある者の採用・人事配置

報告書の概要と全文は、
文部科学省HPでご一読
ください。



http://
www.mext.go.jp



それってどんな意味？

インクルーシブ教育システム (包容する教育制度)

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

共生社会

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。

合理的配慮

障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるもの。

奥越特別支援学校の設置

平成24年11月1日、

奥越地区に新しい特別支援学校が設置されました！

新しい学校の名称は、「福井県立奥越特別支援学校」です。

来年度4月1日に開校します。

対象は、知的障害、肢体不自由、病弱の児童生徒で、幼稚園(5歳児)、小学部、中学部、高等部の13年間の一貫した教育をめざします。

校舎は、現在の勝山南高等学校のグラウンドを利用して建設が着々と進められ、本館は本年中には完成する予定です。1月には、転入学予定児童生徒をはじめ、保護者や地域の人たち、関係者等を対象に学校内覧会が開催されます。

本校は、市街地にあることを活かした学習活動の展開や、地域の保育所・幼稚園、小中学校、高等学校との連携や地場産業と連携した職業教育の充実を図っていきます。詳しくはホームページをご覧ください。

※ホームページURL：<http://www.katsuyamaminami-h.ed.jp/okuetusien-HP/>

幼稚園・高等部の入学選考会は、平成25年2月に実施されます。学部や障がい種によって選考日が異なります。詳しくは、担当者までお問い合わせください。



実践研究発表会のご案内

特別な教育的ニーズのある子どもたちへの指導や支援の在り方に関する実践研究の発表を通して、広く意見や情報を交換し、指導の一層の充実を図るため、『実践研究発表会』を開催します。今年度から会の名称を『研究発表会』から改めました。

日時：平成25年2月15日(金)

会場：福井県立大学交流センター 多目的ホール (3階)

☆詳しくは、1月に各学校・機関に開催要項を配付しますので、ご覧ください。
また、ホームページでもご案内いたします。

多数のご参加を
お待ちしております



センターだより すくらむ の 発行形態変更のお知らせ

今号から、この「センターだよりすくらむ」を電子化し、情報をインターネットで発信していきます。

みなさんの御意見・御感想をお待ちしています。



センターだより すくらむ 第78号

発行日 平成24年12月1日

発行所 福井県特別支援教育センター

所在地 〒910-0846 福井市四ツ井2丁目8-1

TEL (0776)53-6574 FAX (0776) 52-6272

E-mail info@fukuisec.jp

URL <http://www.fukuisec.jp>